

ブックトーク 3年生 「メディアやメディアリテラシーについて知ろう」

平成22年5月実施 (20分)

小テーマ	時間	書名・著者名・出版社名	つなぎの言葉	紹介のポイント	備考
物事を多面的に見る態度	5分	『だまし絵百科』 桑原茂夫 (筑摩書房)	(「レディと老婆」の図を見せて)この絵を覚えていませんか？1年生の教科書にありましたね。	<ul style="list-style-type: none"> ・この絵は『だまし絵百科』に紹介されている。この章の小見出しは、「ひとつの図は必ずしもひとつの情報だけを伝えるわけではない」というもの。 ・これは、ひとつのものごとに対する新聞記事の取り上げ方にもつながる。 ・筆者の考え—「ちょっと立ち止まって考えてみよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「レディと老婆」のだまし絵の拡大コピー ・1年生の教科書
それぞれのメディアの特性	7分	『小中学生のための世界一わかりやすいメディアリテラシー』 後藤武士 (宝島社)	では、ここで連想ゲームをします。アフリカといえば、何を連想しますか？アフリカに行ったことある人はいますか？なぜアフリカのことがわかったのかな？	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカに行かなくても様子を伝えてくれるもの、そしてイメージを作るもの—それがメディア。 ・放送(テレビ・ラジオ)、活字(新聞)の長所と短所 ・放送と活字の、二つの性質をあわせ持ち、より多くの長所・短所、そして危険性を持つものが、インターネット。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「テレビ、ラジオ」「活字」「インターネット」それぞれの「長所」と「短所」のカード
放送にたずさわった人のメディア論	5分	『世界を信じるためのメソッド』 森達也 (理論社)	実は、連想ゲームはこの本に書いてありました。この本の筆者は、放送にたずさわったことのある人です。	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の紹介—松本サリン事件、地下鉄サリン事件の紹介 ・メディアが間違えるのは、「メディアは〇〇」だから—〇〇に入る言葉は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・松本サリン事件に関連する新聞記事(山陰中央新報) ・「メディアは〇〇」のカード
カメラマンのメディア論	3分	『不肖宮嶋メディアのウソ、おしえたる！』 宮嶋茂樹 (河出書房新社)	最後に、実際に現場に行き取材、報道する立場の人のメディア論です。	<ul style="list-style-type: none"> ・「報道写真」というメディアを中心としたメディア論 ・著者のいうメディアの「ウソ」とは何か？ 	